

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	明海大学
設置者名	学校法人明海大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語	日本語	夜・通信	14	—	—	14	13	
	英米語	夜・通信			—			
	中国語	夜・通信			—			
経済	経済	夜・通信	14	—	14	13		
不動産	不動産	夜・通信		—				
ホスピタリティ・ツーリズム	ホスピタリティ・ツーリズム	夜・通信	10	—	4			
保健医療	口腔保健	夜・通信	10	—	4			
歯	歯	夜・通信	—	—	71	71	19	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】

浦安キャンパス講義概要ページ上で公表

<http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/contents/jitsumukeiken2022.pdf>

【歯学部】

歯学部講義要綱ページ上で公表

<https://www.dent.meikai.ac.jp/Syllabus/jitsumukeiken.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	明海大学
設置者名	学校法人明海大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページにて公表

<https://www.meikai.ac.jp/about/information/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現職 (学)朝日大学理事 (学)朝日大学評議員 弁護士	1974. 10. 28 2026. 3. 26	法務、コンプライアンス
非常勤	現職 明海大学非常勤講師 東京医科歯科大学非常勤講師 医療法人いづみや歯科理事	2008. 4. 3 2026. 3. 26	歯学部運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	明海大学
設置者名	学校法人明海大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】 シラバスの作成に当たっては、各授業担当者に対し、執筆要領に基づき当該授業科目の「到達目標」、「評価基準・方法/フィードバック方法」、「授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間」を明示するよう依頼し、教学役職者が原稿の確認を行っている。 また、シラバスは学年始めにホームページに公表しており、学生へ周知している。</p> <p>【歯学部】 授業要綱の作成にあたっては、シラバス作成要領をもとに、1. 授業方法、2. 授業内容、3. 年間の授業計画、4. 到達目標、5. 評価方法について、全教員へ共通フォーマットにより依頼している。 また、授業要綱は学年の始めにホームページに公表しており、学生への周知及び広く一般の閲覧が可能となっている。</p>
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】 授業科目のシラバス http://syllabus.meikai.sugawara-p.co.jp/web/show.php 【歯学部】 https://www.dent.meikai.ac.jp/Syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】 単位認定及び成績評価の基準については、学則に明確化されており、その評価に当たっては、単位認定及び成績評価に関するガイドライン（学長裁定）に基づき公平性を保った評価を行い、所定の要件を満たした者に単位認定を行っている。 また、学生に対し、『履修の手引』により、学修成果測定の間接指標となる進級要件基準や、単位認定を受けるための試験の方法等を明示している。</p> <p>【歯学部】 歯学部の学修成果の評価は、すべての科目において、試験又はレポート等により行われている。 成績評価は、試験又はレポート等の結果により、学則に基づき成績評価を A（100～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）で評価をしている。</p>

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】

一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA (Grade Point Average : 成績平均点数制) による成績・単位修得状況評価を行っている。

GPAは、それぞれの評価に設定されたグレード・ポイント (GP) に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出する。学生に対しては『履修の手引』によりGPA制を周知するとともに、一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するように指導している。

点数区分	成績表に 表記される評価	成績証明書に 表記される評価	可否	GP
90～100点	S	A	合格	4
80～89点	A			3
70～79点	B			2
60～69点	C			1
0～59点	D	表記されない	不合格	0
評価対象外	*			0
	N	N	合格(認定)	除く
	H	H	合格(編入学認定)	除く

【歯学部】

①GPAの評価区分と「GP」

各科目成績	評価区分	G P
100～90点	S	4
89～80点	A	3
79～70点	B	2
69～60点	C	1
59点以下	D	0

②GPA算出方法

- ・年度 GPA = (各 GP × 当該年度の該当科目数) の総和 / 当該学年の総科目数
- ・累積 GPA = (各 GP × 在学全期間の該当科目数) の総和 / 総修得科目数

※数値の小数点第3位を四捨五入

客観的な指標の
算出方法の公表方法

【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】

『成績評価・成績表記』

『GPA (成績平均点数制)』

<http://urayasu.meikai.ac.jp/tebiki/language/pdf/3-1.pdf>

【歯学部】

https://www.dent.meikai.ac.jp/Syllabus/sinkyu_naiki.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】</p> <p>厳格な成績評価の下、建学の精神としての社会性（変わりゆく社会の中でも課題を発見し、主体的に解決する、思考力や判断力）の資質、創造性（自らの求めゆく理想に到達するための思考過程や技術の創造と表現力）の資質、そして合理性（主体的に行動する自律性・自立性と自己の確立）の資質が認められる人材を学位授与の基礎とし、各学部学科のディプロマ・ポリシーを定めている。</p> <p>ディプロマ・ポリシーと各授業科目の関連はカリキュラムマップ（履修系統図）により明確にしている。</p> <p>なお、学生に対しては『履修の手引』によりディプロマ・ポリシー及びカリキュラムマップ（履修系統図）を明示し周知している。</p> <p>【歯学部】</p> <p>＜ディプロマ・ポリシー＞</p> <p>歯学科では、次の要件を満たした者に学士（歯学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生命の尊厳を大切にする医療人としての社会的倫理観と患者中心の歯科医療を実践することができる。 2 歯科医師になるために必要な基本的な専門的知識ならびに臨床技能を有していると判断できる。 3 チーム医療実践に必要な基本的知識とコミュニケーション能力を有していると判断できる。 4 広い視野と知的探究心を有した科学的思考ができる。 5 自律的学修を継続する能力があると判断できる。 <p>各科目とディプロマ・ポリシーとの関連は、履修系統図により明確にしており、各科目の授業要綱にも明記している。</p> <p>歯学部は全ての科目が必修又は選択必修のため、全科目修得が卒業認定の要件となっている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>『明海大学ディプロマ・ポリシー』</p> <p>https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	明海大学
設置者名	学校法人明海大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/55bc2358137ab5bd68c5f50dfb9cbc3919060203.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/c2fc987e3e623f975a11c91cab1286a5142e866f.pdf
財産目録	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/2530ddf88414fa878c7c2cdf230ca74dd85ebe30.pdf
事業報告書	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/350b810f39a02ea741726f73bfa11cc9d2b7d761.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9ac4c063ca49400f7506d3551915cf46c0ac8835.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: _____ 対象年度: _____)
公表方法: _____
中長期計画(名称: 学校法人明海大学中期計画 対象年度: 2022~2027)
公表方法: 大学ホームページ https://www.meikai.ac.jp/about/information/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <https://www.meikai.ac.jp/about/certification/>

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: https://www.jiheer.or.jp/achievement/archive_year/

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 外国語学部日本語学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf ）
（概要） 国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を受け、日本語学分野における学識およびグローバルビジネスに関する知識を受け、国際理解に関する学識を広く、横断的に教授することによって、総合的な応用能力および研究能力を培うことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html ）
（概要） 日本語学科では、主体的に判断・行動する教養をもち、グローバル時代のさまざまな問題に向き合える人物を育てることを目標としており、次の要件を満たした者に学士（日本語学）の学位を授与する。 【日本語専攻】 ①日本と世界の文化・社会・歴史の多面性を把握することができる。 ②日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力が身についている。 ③日本語（国語）、日本語教育、国語教育を理解し、応用できる。 【グローバル・スタディーズ専攻】 ①日本語、英語、中国語を用い、適切に情報を集約・分析し、表現することができる。 ②自己の主張をグローバル的視野で的確に表現できる。 ③多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる。 ④対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html ）
（概要） 日本語学科のカリキュラムの最大の特徴は「日本語教育ができる国語教員」を育成できるという点にある。日本語と日本文化を深く理解した上で「国語（母語としての日本語）」や「日本語（外国語としての日本語）」を教え、海外に日本文化を伝える能力を育成することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。 1 少人数編成のクラスにおいて、基礎学力の育成（1年次）、専門分野における課題探求能力の涵養（2年次）、専門領域別研究の推進（3年次）、卒業研究による学修の集大成（4年次）を段階的に指導し、職業人としての総合力の育成を図る。 2 3年次進級要件に日本語検定3級を課し、確かな日本語運用能力を育成する。 3 各専攻の概要 (1) 日本語専攻では、国語科教員・日本語教員、または編集者等日本語を専門とする職業人として活躍するために必要な高度な日本語運用能力や指導力を涵養する。 (2) グローバル・スタディーズ専攻では、日本語、英語、中国語を身につけ、さらに日本及び周辺諸国・地域の文化、社会、経済、ビジネスを幅広く学び、国際的なセンスと人間力を養う。 入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html ）

(概要)

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

- 1 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
- 2 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人
対応する入試【総合型選抜 (A0)】【総合型選抜 (スポーツ・文化活動)】【総合型選抜 (生涯学習型社会人)】
- 3 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
- 4 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人
対応する入試【学校推薦型選抜 (指定校)】【学校推薦型選抜 (沖縄特別奨学生)】
- 5 日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人
- 6 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人。
対応する入試【外国人留学生特別入試】
- 7 日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人。
- 8 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

入学者の受入れに関する方針 (公表方法:

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html)

(概要)

日本語学科では、日本語と日本文化、外国語と外国文化の深い造詣を求め、学ぼうとする意欲を持ち、さらに身につけた言語力、言語教育力、教養力を生かして国際社会で活躍することを志望する次のような人材を求めている。

- 1 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関での日本語教員、言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究を志望する人
- 2 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍しようとする人
対応する入試【総合型選抜 (A0)】【総合型選抜 (スポーツ・文化活動)】【総合型選抜 (生涯学習型社会人)】
- 3 日本語専攻では、学校教育における国語科教員、国内外の機関で言語教育に関わる仕事を志望する人
- 4 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、多文化に対する柔軟な思考力を身につけ、国際社会で活躍する意欲のある人。
対応する入試【学校推薦型選抜 (指定校)】【学校推薦型選抜 (沖縄特別奨学生)】

- 5 日本語専攻では、母国での日本語教員、日本語教育に関わる仕事を志望する人で、基礎的な日本語運用能力を有し、入学後の日本語運用能力と日本文化の知識を高めようと努力する強い意志のある人。
- 6 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力を身につけ、日本と母国との発展に貢献する強い意志を持ち、国際社会で活躍する意欲のある人。
対応する入試【外国人留学生特別入試】
- 7 日本語専攻では、国語科教員、日本語教員、その他言語教育に関わる仕事、言語や言語教育の研究者、また編集者など日本語についての見識を生かす職業を志望する人。
- 8 グローバル・スタディーズ専攻では、日本語・英語・中国語のコミュニケーション力、主体性、異文化適応力を身につけ、日本社会と国際社会に貢献する意欲を持つ人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】

学部等名 外国語学部英米語学科
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf）</p>
<p>（概要） 国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を授け、英米語学分野における学識およびグローバルビジネスに関する知識を授け、国際理解に関する学識を広く、横断的に教授することによって、総合的な応用能力および研究能力を培うことを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 英米語学科では、次の要件を満たした者に、学士（英米語学）を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国際未来社会で活躍できる幅広い教養と英語コミュニケーション能力が身についている。 2 言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について幅広く理解し、各分野で活躍し得る能力が身についている。 3 社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性と、実社会で通用する能力や資格が身についている。 4 教育・研究の分野で活躍できる能力が身についている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 英米語学科は、英語による実践的なコミュニケーション能力の修得とその基盤となる文化的背景の理解を深めることを目指すと共に、グローバル社会の進展を見据え、多言語能力（英語＋中国語等）と国際教養（諸外国の文化・社会・ビジネスに関する基礎知識）の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1、2年次の必修英語プログラム「Intensive English Program (IEP)」を中心に、週6コマのレベル別少人数クラスで、英語の4技能（「読む」「聞く」「書く」「話す」）の育成を図る。 2 2年次からは、英米語専攻（English Language Major, ELM）とグローバル・スタディーズ専攻（Global Studies Major, GSM）からなる2専攻制に移行し、目標進路の達成に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。 3 各専攻の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 英米語専攻では、言語や文化や教育についての理解やスキルの向上を目指す「英米語・英米文化関連科目」を中心に履修することにより、高度で実践的な英語力と幅広い教養を身につける。 (2) グローバル・スタディーズ専攻では、「グローバル・スタディーズ関連科目」（コア科目、地域研究科目等）を中心に履修することにより、グローバル人材に必要とされる素養（実務的語学力、ビジネス思考等）を身につける。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）

（概要）

英米語学科では、英語コミュニケーション能力と、多言語・多文化・歴史・ビジネス等についての幅広い教養や資格を武器に、社会のさまざまな分野で活躍することのできる力を育てることを目指している。そのため、英語を学ぶことに対して強い意欲を持つと同時に、次に示すような資質、興味・関心、目標を持つ人材を求めている。なお入学時に CEFR-A2 レベル以上と認められる英語運用能力を持つことが望ましい。

- 1 健全な倫理観と責任感を持ち、目標実現のために粘り強く、自律的に努力することができる人
対応する入試【総合型選抜（AO）】
- 2 継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、英語を学ぶことに対して不断の努力をする強い意欲を持つ人
対応する入試【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】
- 3 世界の言語・文化・社会・歴史・教育・経済・ビジネス等について学び、深く理解することに意欲を持つとともに、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいる人
対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】
- 4 豊かな教養と実社会で通用する知識・技能や資格を身につけ、英語を通して持続可能な国際未来社会創造に貢献する意欲を持つ人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

なお、英米語学科では、主として英語と日本語の基礎学力をベースに入学者選抜を行っている。特に、英語については、高等学校の学習指導要領に基づく基本的な英語の知識とスキルを修得しておくことが必要である。また、一定の文章力と口頭表現力が必要となるため、日本語の基礎学力も求められる。入学後には多分野にわたる科目の履修が要求されるため、得意・不得意の違いはあれ、学校で提供される諸科目に真摯に取り組み、幅広く学んでいることが期待される。

学部等名 外国語学部中国語学科
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf）</p>
<p>（概要）</p> <p>国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を授け、中国語学分野における学識およびグローバルビジネスに関する知識を授け、国際理解に関する学識を広く、横断的に教授することによって、総合的な応用能力および研究能力を培うことを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>中国語学科では、次の要件を満たした者に学士（中国語学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能をバランスよく修得し、中国語による情報収集ができ、中国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。 2 アジアにおけるグローバル社会に適応する能力として、中国の歴史・文化・経済・社会についての体系的知識を有し、これらの分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論することができる。 3 多様な文化的背景を持つ人々と協働していくために、コミュニケーションに必要な実践的言語力（中国語・英語・日本語）を有するとともに、主体的に異文化コミュニケーションを実践することができる。 4 中国語専攻学生は、通訳・翻訳に通じる高度な中国語能力を持ち、中国の文化・社会に対する知識を有し、中国語を必要とする仕事において活躍できる。 5 グローバル・スタディーズ専攻学生は、経済・経営・会計・統計などビジネスに必要となる知識を持ち、グローバル社会で活躍できる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要）</p> <p>中国語学科は、実践的な中国語力を涵養し、各専攻に特化した中国語運用能力、専門知識の修得を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1、2年次には、独自の教授法により、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能を育成するとともに、中国の社会、歴史、文学、思想についての基本的知識の修得を図る。 2 2年次からは、二つの専攻ごとにその特色を生かした専門科目を段階的に学ぶことにより、それぞれの専攻分野の基礎力及び進路に応じた高度な能力の養成を図る。 3 各専攻の概要 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中国語専攻では、教員、通訳、出版、広く社会での一般職の職業を目指す者に、中国語学・中国文化を体系的に学んで、中国語教授力及びことばの高度な運営力の育成を図ると同時に、豊かな感受性、自己表現能力、抽象的思考力を身につける。 (2) グローバル・スタディーズ専攻（GSM）では、中国語による実践的語学力を養成した上で、現代社会についての幅広い知識を身につけ、現代のビジネス社会が求める社会学的教養を修得して、21世紀社会に脚光を浴びるであろう東アジア、東南アジア社会を中心に、国際ビジネス社会で活躍できる能力を育成する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）

（概要）

中国語学科では、いまや世界有数の経済大国となった中国の重要性を認識し、国際未来社会で活躍するひとつの方法として、中国語を核とする言語運用能力、関連する歴史・文化・経済・社会などの教養を身につけ、実践的コミュニケーション能力を涵養していくことに強い意欲のある次のような人材を求めている。

- 1 中国語習得に対して強い意欲を持ち、学修が一定の水準に達するまで努力を重ねる力のある人
- 2 異文化コミュニケーションに主体的に関わる意志のある人
対応する入試【総合型選抜（A0）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】
- 3 高等学校における授業内容を十分に理解し、勉学において継続的かつ着実に努力する力のある人
- 4 中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得し、国際社会で自らの力を発揮していくことに強い意欲のある人
対応する入試【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】
- 5 外国語学習の基礎となる十分な国語力と、学習経験のある外国語について一定の達成が見られる人
- 6 中国語を身につけ、関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養の修得に向けて、不断の努力を続ける力があり、広く国際未来社会で活躍しようとする意欲のある人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】
- 7 日本で中国語を学んでいくための基礎となる十分な日本語力を有し、中国語および関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養を修得して、広く国際未来社会で活躍しようとする強い意欲のある人
対応する入試【外国人留学生特別入試】
- 8 少人数制で集中的に独自のカリキュラムを用いて中国語を学修し、加えて 関連する歴史・文化・経済・社会など幅広い教養をも修得して、国際未来社会を支える有為な人材となる強い意志のある人
対応する入試【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

学部等名 経済学部経済学科
教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf ）
（概要） 国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を授け、経済学分野における学識、応用能力及び研究能力を培うことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html ）
（概要） 経済学科では、次の要件を満たした者に学士（経済学）の学位を授与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1 経済学の基礎知識と応用能力を身につけたことが客観的に認められ、その成果を生かして国際経済や地域経済の諸課題解決に資することができる。 2 経営に必要な組織、管理、戦略、財務、マーケティング等のより専門的なマネジメント技術を修得し、活用することができる。 3 「簿記」や「会計」に関する知識や実務・計算能力が身についたと客観的にも評価され、将来、それを生かして活躍することができる。 4 データ処理やデータ分析などの統計学や情報処理に関する専門知識を身につけ高度情報化社会を生き抜く実践的なスキルを修得し、活用することができる。 5 日々変化する社会の中で、自らの将来の課題を探求し、課題を解決する力を修得し、社会の発展に資することができる。 6 強い意欲と積極性を持って「人のために」貢献しうる課題探求・解決の能力を身につけ、国際未来社会や地域社会において活躍することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html ）
（概要） 経済学科は、社会常識と経済学の基礎となる地域社会から国際社会に及ぶ幅広い教養と、公共政策・金融・経営・会計など各分野の高度な能力を兼ね備え、現代グローバル経済社会を力強く生き抜くビジネスパーソンの育成を目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。 <ol style="list-style-type: none"> 1 1年次には、共通のシラバス及び教科書による少人数クラス制の必修科目において、経済、経営・会計に関する関心を深め、経済学ならびに経営・会計学の基本的な考え方の修得を図る。 2 現代ビジネス社会において必要不可欠な実践的知識と能力を育成するため、履修モデルに基づき、コア科目（必修科目）、基礎科目、発展科目を計画的・体系的に学ぶことにより、高度な専門能力の養成を図る。 3 4年間の一貫必修ゼミにより、基礎学力を強化するとともに、個別の進路目標に対応した専門的知識の修得を確実なものとする。 4 将来の進路を見据えて経済学、経営学、会計学の3つの学問分野を軸に7つの履修モデルを選択して体系的に学修する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）

（概要）

経済学科では、経済学及び経営学を学ぶことに対して主体的に取り組める強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 幅広い教養と経済・経営・会計・税法などの専門知識を体系的に学び、身につけたいという意欲を持つ人
- 2 将来、ビジネスパーソンとして活躍するために必要とされる経済学の基本知識と応用能力、外国語運用能力を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 3 「簿記」「会計」に関する知識や技能を身につけ、その学修成果が社会的・客観的に評価されることを希望する人
- 4 公民科の科目に興味・関心がある人、あるいは高等学校等で簿記の基礎を学んだことのある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】
【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（全国商業高等学校長協会）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

- 5 国際経済の動向に常に関心を持ち、積極的に国際社会における体験を積み重ね、将来、グローバルな人材として、国際未来社会に貢献する気概を持つ人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【外国人留学生特別入試】

- 6 身近な地域や国際社会の諸問題について、その解決のための知識を身につけ、ボランティア等として地域貢献活動に参加する強い意志を持つ人（できれば、これまでにボランティアを実際に体験あるいはボランティア活動に志願した経験があることが望ましい）

対応する入試【総合型選抜（A0）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（全国商業高等学校長協会）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】

<p>学部等名 不動産学部不動産学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf）</p>
<p>（概要） 国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を授け、不動産学分野における学識、応用能力及び研究能力を培うことを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 不動産学科では、次の要件を満たした者に学士（不動産学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 不動産学を構成する法学、経済学、経営学、工学について、基本的な考え方、考察や分析の手段、判断の基準がわかるとともに、不動産学の論考に必要な以下の知識が身につけている。 <ol style="list-style-type: none"> ①私法、公法の全体像を把握するとともに、不動産に関連が深い法律知識が理解できる。 ②マクロ経済学、ミクロ経済学の全体像を把握するとともに、不動産に関係が深い会計知識が理解できる。 ③ 建築、都市の構成について全体像を把握することができる。 2 不動産関連ビジネスにかかる基幹的な国家資格である、宅地建物取引士に求められる能力が身につけている。 3 不動産にかかる開発・流通・金融・経営・管理などをカバーするビジネス、ファイナンス、または、デザインについて、その仕組みがわかるとともに、これを適切に行うことができる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 不動産のビジネスにかかる不動産取引、不動産事業経営、不動産企業経営、不動産管理を適切に行うための必要な知識と技能が身につけている。 ② 不動産のファイナンスにかかる不動産市場分析、不動産価格評価、不動産金融、不動産投資、不動産戦略を適切に行うための必要な知識と技能が身につけている。 ③ 不動産の資産価値の創造にかかる不動産企画、空間デザイン、図面作成、調査診断、改善提案、不動産情報処理を適切に行うための必要な知識と技能が身につけている。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 不動産学科は、土地、建物、地域や環境などで構成される不動産の適切なあり方を実現するための基礎となる法学、経済学、経営学、工学とともに、それらを統合する不動産学を学修することで、高度で広範な専門知識と実践力を修得することを目指すとともに、状況に対応して切り拓く人間力の涵養も目指し、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 1年次には、広く不動産に関する基礎学力を養成するために必修科目（不動産学基礎演習及び専門基礎科目群）を設けるとともに、少人数、中人数の複数クラスに分けて授業を行い、学習効果を高める。 2 1年次には、国家資格である宅地建物取引士資格試験に取り組んで合格する能力の育成の徹底を図るとともに、実務知識の修得を通じて不動産業と不動産学への関心を高め、併せて目標に向かって継続努力する資質の涵養を図る。

3 2年次からは、ビジネスコース、ファイナンスコース及びデザインコースで編成される3コースのいずれかを選択して所属し、各自の到達目標と目標進路の実現に必要な基礎力及び専門能力の養成を図る。

4 各コースの概要

- (1) ビジネスコースでは、不動産ビジネスを適切に行うための知識、特に不動産の取引、不動産事業の経営や管理、企業の経営に必要とされる素養を身につける。
- (2) ファイナンスコースでは、不動産ファイナンスを適切に行うための知識、特に不動産の市場分析や価格評価、不動産に対する投資や金融、不動産の活用に必要な素養を身につける。
- (3) デザインコースでは、不動産を適切に創り出すための知識、特に不動産の価値を高める観点から行う不動産の企画や再生、都市や建築のデザイン、街づくり、集合住宅の管理のほか、不動産の情報処理に必要なとされる素養を身につける。

入学者の受入れに関する方針（公表方法）：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html

（概要）

不動産学部では、土地と建物及びそれを取り巻く地域や環境などで構成される不動産が、国民の生活や企業の活動の基盤として大切であることを認識し、不動産学を学修することを通じて、その適切な在り方を実現することに強い意欲を持つ人であり、さらに、不動産学の学修成果を生かして国際未来社会で活躍するひとつの方法として、高度専門職業家として社会貢献することに興味を持ち、その権能を保証される国家資格を取得することに強い意欲を持つ次のような人材を求めている。

- 1 学際的な学問である不動産学の多様性と個性に興味を持ち、その可能性の大きさを自覚して不動産学の学修に取り組み、土地や建物に関連するさまざまな分野で活動することに強い意欲を持つ人
対応する入試【総合型選抜（A0）】
- 2 不動産に関わる開発・流通・金融・経営・管理などのビジネスに興味と理解があり、不動産学の学修を通じて、これらの不動産ビジネスを改善し、社会貢献することに強い意欲を持つ人
対応する入試【総合型選抜（企業推薦）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（全国商業高等学校長協会）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】
- 3 グローバル社会で求められる相互理解と交流に関心を持ち、日本の不動産学を学修することを通じて、世界各国の不動産学、不動産業、不動産制度、不動産専門職業家の発展や改善に貢献することに強い意欲を持つ人
対応する入試【外国人留学生特別入試】
- 4 不動産学の基礎となる文章表現のための国語、数理解析のための数学、国際貢献のための英語などの学力を有し、不動産学の学修のために、継続的に努力する強い意欲を持つ人（自然科学関連科目を履修していることが望ましい）
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】
- 5 自らの意思に基づいた継続的な活動を通じて成果をあげた経験をもとに、不動産学の学修に対して不断の努力をする強い意欲を持つ人
対応する入試【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】
- 6 社会での活動を背景として不動産学の重要性を認識するとともに、不動産学の専門知識を生かして活動する具体的な社会人のイメージを有し、そこに至る自己実現のプロセスとして不動産学の学修を強く希求する人
対応する入試【総合型選抜（生涯学習型社会人）】

学部等名	ホスピタリティ・ツーリズム学部ホスピタリティ・ツーリズム学科
教育研究上の目的（公表方法：	https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf
(概要)	国際未来社会で活躍し得る人材を育成するため、広く知識を授け、ホスピタリティ・ツーリズム学分野における学識、応用能力及び研究能力を培うことを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：	https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html
(概要)	<p>ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を修得し、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を身につけ、それらが求められる社会領域で活躍できると判断できる、次の要件を満たした者に学士（ホスピタリティ・ツーリズム学）の学位を授与する。</p> <p>【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関して十分な知識を持ち、ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とし、これから希少性が高まる接客・接遇を重視する産業界において専門性を生かして活躍できる。 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して学修することができる。 3 効果的なパーソナル・コミュニケーションを実現できる能力の上に、社会の変化を適切に捉え、自ら考え主体的に行動することができる。 <p>【デジタル・イノベーション メジャー】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホスピタリティ・ツーリズム学に関する知識と ICT リテラシーを併せて修得し、文理を超えた理解をもとにデジタル技術を活用した組織や社会の変革を推進するリーダーとして活躍できる。 2 英語運用能力（CEFR B1 レベル以上）を含むコミュニケーション能力を基礎として、言語の違いを超えた活用を目指した学修ができる。 3 ホスピタリティ・マインドをベースとした分析・洞察力にあふれ、問題発見と提案力を発揮することで、SDGs の達成に向けて、自ら考え主体的に行動することができる。 <p>【グローバル・マネジメント メジャー】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎として、マネジメントに関する幅広い知識を持って、高度のコミュニケーション能力を必要とする産業や国内外においてリーダーとして活躍できる。 2 英語運用能力（CEFR B2 レベル以上相当）を基礎とし、海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学体験に基づく文化の違いを超えたコミュニケーション能力を十分に有すると同時に、継続して発展させることができる。 3 ホスピタリティ・マインドをベースとしたリーダーシップにあふれ、柔軟性を活かして利害を超えた関係を構築でき、組織や社会の変革をリードすることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）

（概要）

ホスピタリティ・ツーリズム学科は、ホスピタリティ産業に代表される、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を必要とする産業界において必要となる知識や振る舞いを段階的に修得することを目的に、次の方針に基づき、教育課程の編成を行っている。評価は学内外の試験やルーブリックあるいはポートフォリオ等を総合的に使用して実施する。

【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】

- 1 1年次から4年次までCEFRを基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界で必要となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
（2年次進級要件：CEFR A2 レベル以上、3年次進級要件：CEFR B1 レベル以上）
- 2 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎学力の修得と目的進路に応じた専門的研究や各種資格取得を通じて「就職力」の強化を図る。

【デジタル・イノベーション メジャー】

- 1 1年次から4年次までCEFRを基準とした独自の英語教育を展開し、ホスピタリティ業界やICTに関連する学修で必須となる中級レベル以上の英語コミュニケーション能力を修得する。
（卒業要件：CEFR B1 レベル以上）
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントやICT、デジタル技術に関する、目的進路に応じた専門科目群の履修、実地研修や演習による実践を通じて、幅広く体系的にデジタル技術を活用した変革に必要な知見と発想力を修得する。
（3年次進級要件：ITパスポート試験合格）
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じて基礎教養と基礎学力を修得するとともに、事例研究等を通じて産業界におけるデジタル技術の利活用に資する視点・視座・視野の涵養を図る。

【グローバル・マネジメント メジャー】

- 1 1年次のTOEFLを主体とした英語教育と専門領域に関連した教養教育により海外大学のホスピタリティ・ツーリズム関連学部への留学準備を行い、2・3年次で半年から1年間の留学を経験することで、これからのホスピタリティ・ツーリズム業界のリーダーに求められる多様性の受容とコミュニケーション能力を涵養する。
- 2 ホスピタリティ・ツーリズム学を基礎としたマネジメントに関する専門科目群をほぼ必修とし、目的進路に応じた専門科目群の履修、演習による実践を通じて、幅広く体系的にマネジメントに必要な知識と振る舞いを修得する。
- 3 4年間一貫の少人数制必修ゼミによる個別指導の徹底を通じた基礎教養と基礎学力の修得と、マネジメントとリーダーシップに関する専門研究を通じて「社会人基礎力」の強化を図る。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）

（概要）

ホスピタリティ・ツーリズム学科では、ホスピタリティ・ツーリズム学を学び、ホスピタリティ・マインドとコミュニケーション能力を生かして社会に貢献することに強い意欲を持つ人材を、次の3つのメジャーに分けて求めている。

【ビジネス&プロフェッショナル・コミュニケーション メジャー】

- 1 何事にも主体的、積極的に取り組む意思のある人

2 ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業で、接客・接遇の価値を理解し、発揮あるいは活用、運営できるエキスパートとして貢献していくことを強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（A0）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【デジタル・イノベーション メジャー】

1 想像力と創造力を活かした挑戦と創意工夫に取り組む意思のある人

2 ホスピタリティ・マインドと語学力を必要とする産業で、デジタル技術を活用した変革を推進していくことを強く希望する人

対応する入試【総合型選抜（A0）】【総合型選抜（スポーツ・文化活動）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

3 基礎的な英語運用能力（CEFR A2 レベル以上）を有し、入学後も引き続きその能力を高める努力をする意思のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

【グローバル・マネジメント メジャー】

1 国際感覚を持ち、ホスピタリティ・マインドと高度のコミュニケーション能力が要求される産業や国内外領域においてリーダーとして活躍するための基本的能力を有し、論理的思考や問題発見への習熟に取り組む意思のある人

2 ホスピタリティ・マインド、語学力と多文化理解力が必要とされる産業分野を中心としたさまざまな社会領域において、リーダーとして貢献していくことを強く目指す人

3 基本的な英語運用能力（CEFR-B1 レベル以上）を有し、入学後にもその能力の応用と活用に向けて努力し続ける向上心のある人

対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】【学校推薦型選抜（指定校）】【学校推薦型選抜（公募制）】【学校推薦型選抜（沖縄特別奨学生）】【外国人留学生特別入試】

学部等名 保健医療学部口腔保健学科
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf）</p>
<p>（概要） 国際未来社会で活躍し得る人間性、感性に富む歯科衛生士を育成するため、広く知識を受け、口腔保健学分野における学識、臨床能力及び研究能力を培うことを目的とする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 「保健医療学部口腔保健学科」では、次の要件を満たした者に「学士（口腔保健学）」の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 口腔保健にかかる健康増進・医療・福祉に携わることができる知識と技能を有し実践することができる。 ② 歯科衛生士としての誇りと職業倫理を有し、生涯にわたって国民の健康な生活を確保することができる。 ③ 医療にかかわる他の職種とも連携して、口腔保健の立場から社会的な貢献ができる。 ④ 口腔保健の専門職種として国際社会で活躍することができる。 ⑤ 課題に対して論理的思考力を発揮して解決することができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 「広い視野・豊かな感性・国際性」を兼ね備えた、常に変化し続ける社会状況に対応可能な“国際未来社会で活躍し得る歯科衛生士”を養成するため、4年間一貫教育のカリキュラム編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間性の陶冶を図るための教養教育を充実し社会人としての基礎力を向上する。 2 社会性、創造性、合理性の高揚を図り、国際性を進展させるための科目の充実を図る。 3 超高齢社会での口腔保健の実践力を育成するため医学的知識の涵養に加え、摂食嚥下機能や周術期療法にかかる知識と技能の高揚を図る。 4 スペシャルニーズに対応できる知識と技能を修得する。 5 実習を通じて多職種連携の重要性を理解する。 6 臨床および地域保健あるいは地域包括ケアにおいて総合的に活躍できる知識と技能の修得を図る。 7 国際性の向上を図るため語学学習を充実する。 8 問題解決能力や研究能力の育成を図るための課題研究を充実する。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p>
<p>（概要） 口腔保健学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人材を求めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 口腔保健学の学修に必要な基礎学力を有している人（特に自然科学又は生命科学関連科目を履修していることが望ましい） 対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】 2 医療人として必要なホスピタリティマインドを有している人 3 コミュニケーション能力を身につけている人

対応する入試【総合型選抜（A0）】【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】

- 4 保健・医療・福祉の分野で自分の能力を発揮したいと願っている人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】
【総合型選抜（生涯学習型社会人）】
- 5 口腔保健を通じて、国民の生活の質の向上を図る強い意識を持っている人
対応する入試【総合型選抜（A0）】【学校推薦型選抜（指定校）】
- 6 国際社会で活躍する希望を持っている人
対応する入試【一般選抜】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】
【総合型選抜（生涯学習型社会人）】【学校推薦型選抜（指定校）】

<p>学部等名 歯学部歯学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/9c09f85c46cd502b9fc0595000eb5eb284db53ab.pdf）</p> <p>（概要） 国際未来社会で活躍し得る人間性、感性に富む歯科医師を育成するため、広く知識を授け、歯学分野における学識、臨床能力及び研究能力を培うことを目的とする</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p> <p>（概要） 歯学科では、次の要件を満たした者に学士（歯学）の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生命の尊厳を大切にす医療人としての社会的倫理観と患者中心の歯科医療を実践することができる。 2 歯科医師になるために必要な基本的な専門的知識ならびに臨床技能を有していると判断できる。 3 チーム医療実践に必要な基本的知識とコミュニケーション能力を有していると判断できる。 4 広い視野と知的探究心を有した科学的思考ができる。 5 自律的学修を継続する能力があると判断できる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p> <p>（概要） 「広い視野・豊かな感性・国際性」を兼ね備えた、常に変化し続ける社会状況に対応可能な“新時代の歯科医師”を養成するため、6年間一貫教育カリキュラムの編成を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 医療人として必須なコミュニケーションやプレゼンテーション能力、幅広い視野、基本姿勢を育成する。 2 臨床体験実習により基本的ならびに高度な歯科医学の実践へのモチベーションを育成する。 3 学生主体の相互交流による海外研修ならびに教養・専門教育科目を通して国際的視野を有する人材を育成する。 4 6年間一貫教育を通じ、豊かな人間性と基礎・臨床歯科医学ならびに関連する医学知識を幅広く理解し、応用・実践する能力を育成する。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html）</p> <p>（概要） 歯学科では、歯科医学を学ぶことに対して強い意欲を持つ次のような人材を求めている。</p> <p>（知識・理解、思考・判断）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歯科医学学修に必要な基礎学力を有している。特に数学・自然科学・生命科学関連科目を履修していることが望ましい。 対応する入試【一般選抜】【一般選抜（共通テストプラス方式）】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】【総合型選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】

2 国際未来社会で活躍する歯科医師となるために必要な基礎的英語学力（CEFR-A2 レベル以上）を有する。

対応する入試【一般選抜】【一般選抜（共通テストプラス方式）】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜】

（興味・関心・意欲、態度）

1 医療人として必要な高い倫理観を有し、探究心と広い視野・深い分析的思考を持つことに意欲がある。

2 歯科医療・歯科医学ならびに医療・福祉に関して深く興味・関心を持ち、歯科医師としてこの分野で貢献することに強い目的意識を有している。特に社会福祉など社会連携ボランティア活動の経験を有していることが望ましい。

3 入学後も自己学修に励み人間性の涵養及び歯科医療・歯科医学の学修と実践に努力することができる。

対応する入試【一般選抜】【一般選抜（共通テストプラス方式）】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】【総合型選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】

（技能・表現）

1 自分の考えを明確に説明でき、他人の考えを深く理解する意欲と能力を有する。

2 幅広い人間性と協調性を有し周囲との良好な人間関係を保つことができる。

対応する入試【一般選抜】【一般選抜（共通テストプラス方式）】【大学入学共通テスト利用選抜】【総合型選抜（A0）】【総合型選抜】【学校推薦型選抜（指定校）】

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

組織図 <https://www.meikai.ac.jp/about/information/organization/index.html>

委員会等 <https://www.meikai.ac.jp/about/information/committee/index.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
外国語	—	13人	10人	7人	1人	0人	31人
経済	—	11人	11人	5人	0人	0人	27人
不動産	—	9人	6人	2人	0人	0人	17人
ホスピタリティ・ツーリズム	—	13人	2人	0人	0人	0人	15人
歯	—	25人	19人	32人	60人	0人	136人
保健医療	—	11人	0人	6人	1人	0人	18人
教養部（一般教育）	—	8人	2人	17人	3人	0人	30人
その他	—	0人	0人	1人	0人	0人	1人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		261人					261人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.meikai.ac.jp/about/information/degree/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
外国語	280人	304人	108.1%	1,120人	1,113人	99.4%	欠員の範囲	4人
経済	300人	353人	117.7%	1,200人	1,333人	111.1%	欠員の範囲	0人
不動産	180人	194人	107.8%	720人	725人	100.7%	欠員の範囲	4人
ホスピタリティ・ ツーリズム	200人	127人	63.5%	800人	650人	81.2%	欠員の範囲	1人
歯	120人	120人	100.0%	720人	742人	103.1%	欠員の範囲	4人
保健医療	70人	73人	104.3%	280人	248人	88.6%	欠員の範囲	0人
合計	1,150人	1,171人	101.8%	4,840人	4,811人	99.4%	—	13人
(備考) 編入学定員：若干名								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数					
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他	
外国語	200人 (100%)	5人 (2.5%)	162人 (81.0%)	33人 (16.5%)	
経済	284人 (100%)	7人 (2.5%)	219人 (77.1%)	58人 (20.4%)	
不動産	97人 (100%)	3人 (3.1%)	83人 (85.6%)	11人 (11.3%)	
ホスピタリティ・ツーリズム	149人 (100%)	1人 (0.7%)	139人 (93.3%)	9人 (6.0%)	
歯	100人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	100人 (100%)	
合計	830人 (100%)	16人 (1.9%)	603人 (72.7%)	211人 (25.4%)	
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)					
<ul style="list-style-type: none"> ・主な進学先：明海大学大学院、法政大学大学院、和歌山大学大学院など ・主な就職先：株式会社新昭和、テクパン株式会社、千葉県教育委員会など 					
(備考)					
<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療学部口腔保健学科は2019年4月1日開設のため、本設問に該当しないことから未回答 ・歯学部その他内訳：臨床研究医76名 その他24名 					
c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】</p> <p>シラバス作成の段階で、各授業担当者に対し、執筆要領に基づき授業計画とともに当該授業科目の「到達目標」、「評価基準・方法」、「授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間」を明示するよう依頼し、教学役職者が原稿の確認を行っている。</p> <p>また、シラバスは学年始めにホームページに公表しており、学生へ周知している。</p> <p>【歯学部】</p> <p>授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること： http://www.dent.meikai.ac.jp/Syllabus/</p> <p>授業要綱の作成にあたっては、シラバス作成要領をもとに、1. 授業方法、2. 授業内容、3. 年間の授業計画、4. 到達目標、5. 評価方法について全教員へ共通フォーマットにより依頼している。</p> <p>また、授業要綱は学年の始めにホームページに公表しており、学生への周知徹底を図っている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】

一定期間の履修及び学修状況をより明確に把握するために、GPA (Grade Point Average : 成績平均点数制) による成績・単位修得状況評価を行っている。

GPAは、それぞれの評価に設定されたグレード・ポイント (GP) に単位数を乗じた成績点数の和を、総履修単位数で除することによって算出する。学生に対しては『履修の手引』によりGPA制を周知するとともに、一旦履修した科目については、途中で放棄することなく、確実に単位を修得するように指導している。

点数区分	成績表に 表記される評価	成績証明書に 表記される評価	合否	GP
90～100点	S	A	合格	4
80～89点	A			3
70～79点	B	B		2
60～69点	C	C		1
0～59点	D	表記されない	不合格	0
評価対象外	*			0
	N	N	合格(認定)	除く
	H	H	合格(編入学認定)	除く

卒業認定基準については、卒業要件単位数を大学設置基準の定める 124 単位 (保健医療学部は 125 単位) としており、学則別表に定める要件を履修の手引に掲載するとともに、オリエンテーションで学生への周知を図っている。

【歯学部】

修業年限に必要な修得単位数：

https://www.meikai.ac.jp/about/upload_files/c9af24ba4aaa8d278f02d30433432ac4c637410e.pdf
入学者受入・教育課程編成・学位授与に関する方針 (学部)

https://www.meikai.ac.jp/about/information/department_policy/index.html

卒業認定基準については、歯学部は全ての科目が必修又は選択必修のため、全科目修得が卒業認定の要件となっている。

また、成績評価は、試験又はレポート等の結果により、学則に基づき A (100～80 点)、B (79～70 点)、C (69～60 点)、D (59 点以下) で評価し、所定の要件を満たした者に単位を認定している。

歯学部では専門科目については大学設置基準第 32 条第 2 項に基づき、時間制を採用しているため、「卒業に必要な単位数」については、人間力形成教育科目 74 単位と専門教育科目 4,764 時間を併記した。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語	日本語	124 単位	有・無	1 年前学期 22 単位
	英米語	124 単位	有・無	1 年後学期 22 単位
	中国語	124 単位	有・無	2 年前学期 24 単位
経済	経済	124 単位	有・無	2 年後学期 24 単位
不動産	不動産	124 単位	有・無	3 年前学期 26 単位
ホスピタリティ・ ツーリズム	ホスピタリティ・ ツーリズム	124 単位	有・無	3 年後学期 26 単位
保健医療	口腔保健	125 単位	有・無	4 年前学期 28 単位
歯	歯	人間力形成教育科目 74 単位 専門教育科目 4764 時間	有・無	4 年後学期 28 単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法： http://urayasu.meikai.ac.jp/tebiki/language/pdf/3-1.pdf		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.meikai.ac.jp/about/information/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
外国語	日本語	698,000 円	230,000 円	240,000 円	施設維持費 240,000 円
	英米語				
	中国語				
経済	経済				
不動産	不動産				
ホスピタリティ・ ツーリズム	ホスピタリティ・ ツーリズム (BPCM)	698,000 円	230,000 円	340,000 円	教育充実費 100,000 円 施設維持費 240,000 円
	ホスピタリティ・ ツーリズム (DXM)	698,000 円	230,000 円	340,000 円	教育充実費 100,000 円 施設維持費 240,000 円
	ホスピタリティ・ ツーリズム (GMM)	698,000 円	230,000 円	440,000 円	教育充実費 200,000 円 施設維持費 240,000 円
保健医療	口腔保健	698,000 円	230,000 円	440,000 円	教育充実費 200,000 円 施設維持費 240,000 円
歯	歯	1,900,000 円	400,000 円	1,180,000 円	教育充実費 780,000 円 施設維持費 400,000 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】</p> <p>2001年4月から、「学生支援システム」を構築し、次のとおり、積極的かつ多角的な学生支援体制を整えている。</p> <p>①人数クラス制の導入及び入学時のクラスミーティングの実施</p> <p>②オフィスアワーの徹底</p> <p>③大学への帰属意識を高めるための宿泊型行事「サマーキャンプ」(教職員及び学生約150名参加)の実施</p> <p>④個別支援の強化・教職員・部署間の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生情報のデータベース化推進 ・授業の出欠状況調査(前学期・後学期とも2回ずつ実施) ・退学希望者に対する指導教員の面談 ・授業出席状況の確認をWeb上のできるシステムを、学生及びその保証人へ提供 ・ピアサポーターの育成 <p>【歯学部】</p> <p>歯学部には各学年に学年主任が、また、各学年を4クラスに編成し、各クラスにクラス主任が置かれている。学年主任及びクラス主任は、日常的な修学指導、生活指導のほか、授業の出欠状況の把握、個人面談等を通じて学生生活全般のサポートを行っている。また、5年次及び6年次においては、学生10人に対し、1人の若手教員がアカデミックアドバイザーとして配置され、学年主任、クラス主任と連携を図り、卒業・歯科医師国家試験受験に向けてきめ細かい学修指導が行われている</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>【外国語学部、経済学部、不動産学部、ホスピタリティ・ツーリズム学部、保健医療学部】</p> <p><インターンシップ></p> <p>指定するインターンシップ・プログラムであれば、実習の成果を単位認定している。</p> <p>※保健医療学部を除く。</p>

<キャリア教育>

1年次から4年次まで一貫して継続するキャリアプログラム「MGO」を構築している。「MGO」は、明海(Meikai)大学独自のキャリアプログラムで、4年間の学修を通して学生の成長(Growth)と機会(Opportunity)を提供し、一人ひとりが自分らしいキャリアをつかむ手助けをしている。「MGO」により、社会で活躍するために必要な基礎力の養成、自己理解、社会理解などを体系的・実践的に学ぶことで、就職活動本番に備えている。

(キャリアプログラム)

1年次「キャリアプランニングⅠ(必修科目)」※保健医療学部は選択科目

2年次「キャリアプランニングⅡ(必修科目)」※保健医療学部は選択科目

「キャリアプランニングⅢ(必修科目)」※保健医療学部は選択科目

3年次「キャリアデザイン(選択科目)」・「就活コーチング」

4年次「就活コーチング」

※3年次に「キャリアデザイン」を履修した学生には、原則一人ひとり就活コーチングスタッフが付き、単位を修得した4年次については、引き続き就職が決まるまできめ細かくサポートしている。

【歯学部】

臨床医として働くために卒業後1年間の臨床研修が国から義務づけられており、本学でも付属病院にて行っている。さらに臨床研修終了後、本学歯学部には約40年の歴史を有する臨床研修の専門機関(PDI)があり、治療計画から歯科医院の経営方法まで、総合的な知識・技術を修得することができる。

また、開業後にフォローアップが受けられる生涯研修(CE)制度もあり、万全のサポート体制を整えている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

各キャンパスの保健管理センターでは、定期健康診断の実施、ケガや体調不良時の応急処置及び健康相談などの業務を通して、学生の健康管理に努めている。

【外国語学部・経済学部・不動産学部・ホスピタリティ・ツーリズム学部・保健医療学部】

浦安キャンパスの保健管理センターには、学生相談室及びトレーナーズルームを併設している。

学生相談室では、専門のカウンセラーが待機しており、カウンセラーが学内の教職員と連携をはかりながら相談にのっている。また、学生の家族や教職員等に対するコンサルテーションの実施や、学内の異なった専門性をもつ教職員が集まり、学生の個別ケースに対するよりよい援助策を講じるカンファレンスを行っている。この他、新入生に対しUPI(University Personality Inventory)を実施し、支援が必要な学生に対し、早期に個別面談を実施している。

トレーナーズルームでは、トレーナーが健康維持、運動能力の向上及び負傷・体調不全に対応した応急処置等について、専門的な指導及び情報の提供を行っている。

【歯学部】

本学学生及び教職員の心身の健康保持増進を図るために保健管理センターが設置されている。保健管理センターでは、定期及び随時の健康診断の企画立案・指導、クラブ学生健康診断、健康相談、スクールカウンセラーによるカウンセリング、その他健康管理について必要な助言などを主な業務としている。また、学生相談室では、学業や学生生活、友人関係などという学生の様々な悩みに対して、本学の教職員が速やかにその相談相手になり、問題解決への指導・助言を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.meikai.ac.jp/education-study/>

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	明海大学
設置者名	学校法人明海大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		317人	311人	301人
内訳	第Ⅰ区分	195人	188人	
	第Ⅱ区分	72人	78人	
	第Ⅲ区分	50人	45人	
家計急変による支援対象者（年間）				—人
合計（年間）				304人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令(令和元年政令第49号)第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	— 人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0 人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	12 人	人	人
計	24 人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0 人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	— 人
3月以上の停学	0 人
年間計	— 人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	34人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	34人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。